

# 平成30年度 福島市・米沢市・相馬市・伊達市 連絡協議会幹事会の開催

7月2日、平成30年度  
福島市・米沢市・相馬  
市・伊達市議会連絡協議  
会幹事会が相馬市で開催  
されました。

本協議会は、福島市・  
米沢市・相馬市・伊達市  
(4市)の共通課題につ  
いて相互理解に努めると  
ともに、4市議会議員の  
友好親善を図ることを目  
的に組織されており、4  
市の共通課題の研究や各  
種親善事業を実施してい  
ます。

幹事会には、4市議会  
の議員26名が出席し、平  
成30年度の事業計画等  
について協議しました。  
幹事会終了後に、福島  
県北部地方や山形県南部  
地方の物流拠点として重  
要な役割を担っている重  
要港湾相馬港の復旧の状  
況等について現地視察を  
実施しました。

まず、国土交通省港湾  
業務艇に乗船し、相馬港  
の復旧・復興の状況や相  
馬港に進出している企業  
の状況について、国や県  
の担当者から説明を受  
け、現状の理解を深めま  
した。

また、相馬港において  
実施されている福島イ  
ノベーションコースト  
構想の主要計画の1つ  
である、「石油資源開発  
(株)」が行うプロジェク  
トを視察し、天然ガスの  
状況について、理解を深  
めました。



幹事会において平成30年度  
事業の計画等の協議を行う  
議員ら



国土交通省港湾業務艇によ  
る相馬港の視察において、  
国県の担当者から説明を受  
ける議員ら

## 基幹交通網の早期復旧と整備促進に関する特別委員会 常磐道の4車線化、東北中央道の早期開通、 JR常磐線の早期復旧を国や関係機関へ要望

基幹交通網の早期復旧  
と整備促進に関する特別  
委員会(波多野広文委員  
長)は5月31日から6月  
1日にかけて、JR常磐  
線の早期再開や常磐自動  
車道の早期全線4車線化  
などといった基幹交通網  
の整備について要望活動  
を行いました。

要望活動ではJR東日  
本水戸支社、NEXCO  
東日本、国土交通省、復

興庁、環境省、福島県選  
出国会議員に要望書を手  
渡し、市の現状に対し理  
解を求めました。

また、復興庁では吉野  
正芳復興大臣(福島県選  
出議員)と面談し、東日  
本大震災からの復興には  
基幹交通網の早期復旧と  
整備促進が不可欠である  
ことについて理解をいた  
だき、全面的な支援を求  
めました。

### 要望書の主な内容

#### 1. 常磐自動車道の4車線化

相双地方から仙台市やいわき市な  
どに立地する高次医療施設への円滑  
なアクセスを可能にするため、常磐  
自動車道いわき中央IC～岩沼IC間  
の全線4車線化を早期に実現してい  
ただくよう強く要望する。

#### 2. 東北中央自動車道の早期開通

福島県立医科大学付属病院等への  
迅速な救急医療搬送を行うため、東  
北中央自動車道(相馬福島道路)の  
一日も早い全線開通を要望する。

#### 3. JR常磐線の早期復旧

JR常磐線の全線復旧及びベビー  
カーを使用する子育て世代や、高齢  
者をはじめとした駅利用者の利便性  
向上のため、エレベーターの設置に  
ついてJR東日本や関係自治体に対  
する国の全面的な支援を要望する。



吉野正芳復興大臣(写真中  
央右)へ要望書を手渡す波  
多野広文委員長(写真中央  
左)